

<ミニ散歩> ニヶ領用水を宿河原から円筒分水へ

■2020年5月17日(日) 天候:晴れ 気温:26度(前日の雨で蒸し暑かった)

川崎の母なる川が多摩川ならば、このニヶ領用水はある意味「父なる川」と言えるでしょう。江戸時代、稲毛と川崎領に跨って流れていた神奈川県下で最も古い人工用水路。途中にある円筒分水で根方堀、川崎堀、六ヶ村堀、久地・二子堀として四方向に分かれ、長年領域一帯の農業を支えてきましたが、前にも書いたように今では市民の憩いの散歩道となっています。

今回はこの用水の上流部を久々にミニ散歩してきました。二ヶ月ぶりに南武線に乗りましたが、乗客は全員マスクをつけ、日中で空いていることもあり、大きく間隔をあけ座っていて感染の心配もなし。青葉一色の緑道沿いには、グループこそ見られないものの、多くの人々が散策を楽しんでいました。歩行3km弱、電車も僅かな時間とはいえ乗れたのが新鮮でした。

<小島>



駅頭



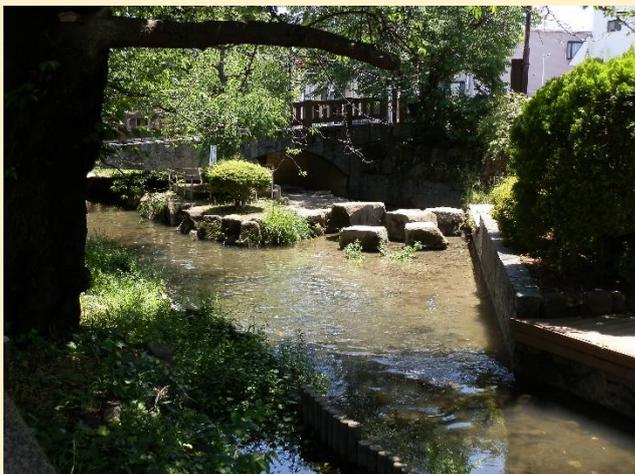
案内



コイ



緑橋



川床



石碑



八幡



桃里



花壇



隧道



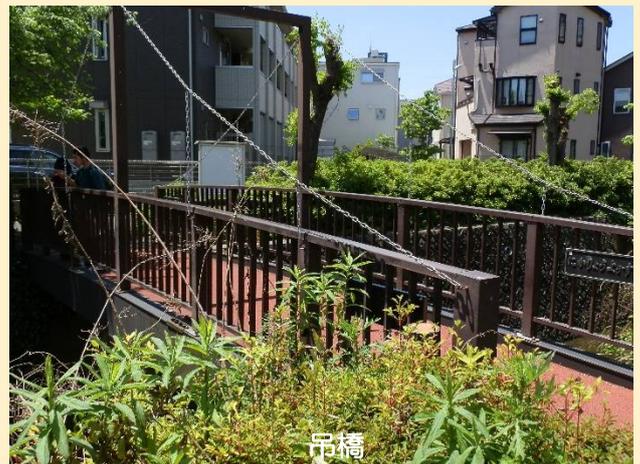
飛蝶



謎寺



稻荷



吊橋



遺構



鬘花



緑陰



分水

※二ヶ領用水は支流を含め全長32kmの用水路で、川崎堀下流は住宅街で暗渠となり、分流の大師堀跡に繋がります。
二カ所ある多摩川からの上流部取り入れ口、上河原堰から川崎堀地上最下流の鹿島田駅付近までを、ウォーキングコースとして考えたこともありますが、20km程の健脚コースになりそうなので、果たしていつ実現できることやら・・・

END